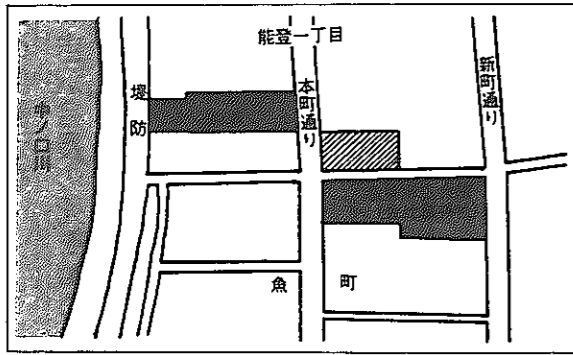




金比羅神社のあった場所には現在、産業厚生会館が建っている（昭和39年12月にしゅん工）



沖新保：諏訪神社新築記念奉納花火大会

景気をつける67発。市内では6年ぶり



くちコミで周辺の人々も集まってきた。県道わきに車を止めて見る人、農道にゴザを敷いて夕食を取る人も

八月二十六日、沖新保部落（二十六戸）では今年お宮を新築したのを記念し、宵宮のこの日、花火大会を開きました。

計画したのは沖新保夫婦会（十四組加入）で、この会は毎年秋、米の収穫が終わってから旅行などしている親睦団体です。会長の田村秀雄さんは「農作物の価格も低迷し、金利も下がるなどの暗い世の中ですが、不景気な話ばかりしないで、神社のしゅん工式に花火でも上げて景気よくやろうと、会で決めました」と話しています。

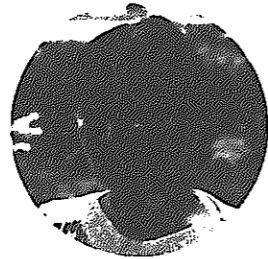
当初は会員だけで、ほんの合図程度に上げる予定でしたが、話を聞いた他の団体や親せき、業者関係、隣部落の人たちも協力してくれ、計六十七発の花火が用意されました。大きさは三寸から八寸までのものと、スターメイン四発。総費用は約八十万円。尺玉を申し

込む人もいましたが、住宅からの距離との関係で手続きが難しくなるため、残念ながら断念しました。打ち上げ場所はお宮の東側、県道から三百ほど入ったたんぼの真ん中で、安全確保のために地元消防団も出動しました。午後八時になり、新しいお宮に御神体が納められると同時にまず合図の花火が、そして次々と暗闇に極彩色の大輪が咲き、強烈な音が夜空にこだまし始めると、集まった人たちから歓声が上がっていました。

「みんな協力的だったし、とても楽しくやれました」と田村会長。市内での花火大会としては、白根まつり協賛会（商工会をはじめる各種団体で構成）が、毎年お盆に開いていましたが、打ち上げ場所の確保が難しくなってきたため、五十六年から取りやめとなっている状態でした。

中之口村から母に連れられ、遊んだ幼き日々

語る人
丸山テイさん
(新飯田第・61歳)



私の思い出 書のおが衝

亡母の生家が能登にあり、中之口村生まれの私は幼いころ、お祭りや節句ともなればかかさず母に連れられて呼ばれていったものです。

小路をはさんで隣に金比羅神社がありました。大鳥居の奥にでんと居座った駒犬が怖くて正面から

入れず、二段に張られた有刺鉄線をくぐり抜けてはわきから近道をし、いとこと一日中、境内や回廊で遊んだ楽しい思い出があります。お祭りの宵には、県道をはさんで斜め向かいの材清さん（故加藤清二郎さんの生家）の由緒あるお屋敷もこのときは一般公開され、片隅にあつたほころにはあかあかとお燈明がともり、おおぜいの参り人のにぎわったものでした。今はどちらも取り壊されて昔の面影はありませんが、縁あって新飯田へ嫁ぎ、年一、二回私用で厚生会館へ出向くたびに往時を懐かしくしのんでいます。



「おてつだい」でなく

九月当初、夏休みのことについての発表会を持ちました。「東京のデイズニールランドへ、つれていってもらったよ」「みんなで、キャンプして、たのしかったよ」。「飛行機で佐渡へ行ってきた」などと……

今の子供は、小学生のころからいろいろな所へ行けていいなあ、と思った反面、「うちの人がからしてもらったことばかりだけど、みんながおうちの人のしてやったことではないの？」と聞いたら、



8月31日の「おてつだい」発表会にて（写真本文とは関係ありません）

「おじいちゃんとおとうもぎをしたよ」
「はかのこの草とりをね、おばあちゃんもやったよ」
など、四、五人の子供たちが発表してくれました。

お年寄りの手もあり、恵まれた家庭環境にある子供たちですが、日常生活では「してもらう」ことが多くて、せっかくの積極性も眠ったままのようです。

「おてつだい」ではなく、ときにはその子に合った仕事の分量や範囲を決めて、責任を持たせて積極的に家事を分担させてみることもいかがでしょうか。思わぬ力を発揮してくれます。発表の続き……

「ぶどうもぎの仕事はいつぱいしたから、おじいちゃんが、かんとしよう」をくれたよ」
おじいちゃんに仕事ぶりを認められた彼は、夏休みボケもななくいきいきと動き回っています。（白井小学校にお願いしました）



昭和四十三年、故福島定治氏（当時、市教育委員会 社会教育主事）編集「しろねのことば」から

- とつべつもねえ とてつもない とばえる とべる。鷺巻地方 とべえーる 全地域
- とまぐち 玄関
- へえりぐち 新飯田地方
- とり にわとり。新飯田地方
- ちやぼ
- とんぼぐさ 露草
- どんぼぐさ 茨曾根地方
- な おまえ
- なら 全地域
- おめえ
- ねら 庄瀬・鷺巻・根岸地方
- なげ 長い
- なげえ 新飯田地方
- な一たち おまえたち。白根・白井・大郷地方
- ならたち 全地域
- ねらたち 大郷・鷺巻・根岸地方
- なあして どうして
- なじらばや なんでもない
- なじらな 庄瀬地方
- なじれもねえ 新飯田・庄瀬・白井・鷺巻地方
- なじらね どうだね
- なす 返す
- なにかせる 何を食べきせるかなにわけるか 新飯田地方
- なにこく なにを言う
- なるう 習う
- のろう 新飯田地方
- なんぎ つらい
- なんご ごっこ
- に 1. げ 若い。茨曾根・庄瀬地方
- に 2. げえ 新飯田地方
- に 3. げえ 新飯田地方
- に 4. げえ 鷺巻地方
- に 5. どのも じゃがいも
- に 6. わ 家の作業場
- に 7. ざり 雪で作る硬い玉。白根地方
- ごろ 新飯田・大郷・鷺巻・根岸地方
- じろうたま 庄瀬地方
- ねいちゃん 姉
- ねえ 無い
- ねぐせい 食べ物が腐ること
- ねこのみ ゆきのした
- ねつちよう すねる、じゃま、妨害
- ねぶた 1. 眠い。茨曾根地方
- ねぶた 2. 鷺巻地方
- ねむって 1. 白根・白井・大郷・鷺巻地方
- ねむって 2. 新飯田地方